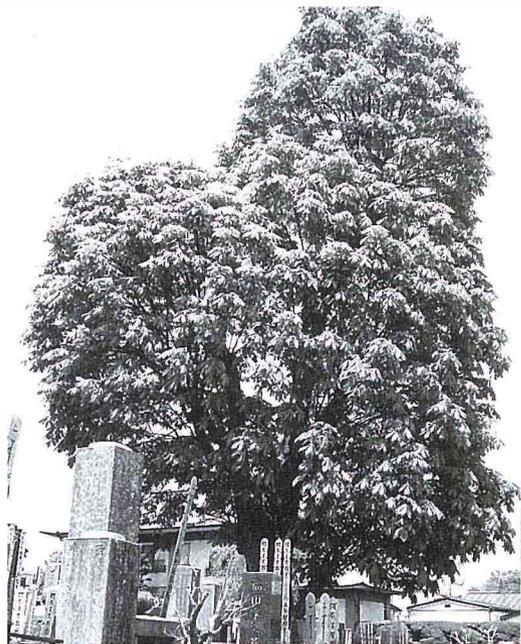


# ふあ い 広場



県庁前通り、亀の甲坂の南側にある延命院。その中央に高さ二十メートルもある大きなトチノキが、お墓を見下ろすように立っています。樹齢は三百七十年以上で、江戸時代の元和年間に寺が、現在の場所に移転したときに植えられたものの一つです。

トチノキは大きな葉が特徴で、初夏に白い花が咲き、食用にもなる実をつけます。また、秋には落葉するなど季節ごとに雄大な姿を見せてくれます。

長い間、宇都宮の歴史を守ってきたトチノキ。これからも大切にしていきたいと思っています。



泉町  
小針直哉さん

## 延命院のトチノキ

昭和50年3月25日・市指定天然記念物

文化財ウオッチング